

## 20150108 起業集団つくる仙台の取り組み 渡辺勝幸氏

### ○株式会社つくる仙台の取り組み

- ・ H2 2 秋から起業支援
- ・ H23.311 震災
- ・ 家も大規模半壊。仲間も亡くなり
- ・ 一段落
- ・ 全国の色んな方にお世話になった
- ・ がれきの破壊したものばかり見ているとき
- ・ つくらないといけない。地域に住んでいる人たちで創造
- ・ H23.11 県議選につくるという公約で出馬
- ・ H24.1 林塾入塾
- ・ H24.5 株式会社つくる仙台設立
- ・ 23 社設立
- ・ 起業支援、経営支援コンサル
- ・ 創業スクール
- ・ 飲食、建設、介護
- ・ 経営理念
- ・ 東北に新しいビジネス
- ・ 起業チャレンジ精神を応援し、地域の自立を目指す
- ・ プロフェッショナル集団の活性化を目指す
- ・ 安倍政権の成長戦略 開業率倍増をめざす！ リンクさせている
- ・ ベーシックコースと女性起業家コース
- ・ 受講料全 12 回 10,800 円
- ・ 20 名くらい受講
- ・ 最初に原大本徹
- ・ 6 W 2 H
- ・ 各授業でそれぞれのプロフェッショナルが講師
  
- ・ 農業生産法人、パルクール、エステ、ネットでのマッチングサービス
- ・ 家事代行サービス、デコケーキ職人の養成、飲食店、建設等
- ・ 創業スクール参加して大阪府豊中市で開業した人も
- ・ 20～40 代が多い
- ・ 起業する人は一握り
- ・ 学生起業家も
- ・ 自衛隊員になりたい人の塾をつくらうとしている人もいる
- ・ ねこてっくす 迷子猫のポスターやチラシをつくる会社

- ・社長は主婦
- ・実家仙台で今は兵庫に住んでいる
- ・H23 夏からスタート
- ・今度仙台に引っ越してくることに
- ・公益性のある場合は社団、NPO だが、事業は株式会社をおすすめする
- ・共通価値 社会的価値と経済的価値を同時に実現する
- ・他府県の事例
- ・富士市産業支援センターf-BIZ キーマン小出さん
- ・よろず支援拠点は f-BIZ がモデル
- ・うまくいくいかないはキーマンの存在
- ・ドリームゲートアドバイザー 専門家が 465 人
- ・公的機関が主導して経営支援、起業支援は難しい

#### ○野地さん

- ・2010 年に株式会社アイデンティティ創業
- ・実家は三菱ディーラー
- ・商売人気質
- ・家事代行サービス BLUE-BLUE
- ・アイデンティティ=日本
- ・日本を元気にするという想いを持っている
- ・2 時間から利用可能 富裕層だけという時代は古い
- ・家事代行サービスは 30 年前に日本に入ってきた
- ・国が着目している
- ・安倍政権、解散前のスローガン女性の輝く日本
- ・女性の社会進出
- ・女性をサポートするサービスを国がサポートという方向性
- ・フランスでは実践されている
- ・国 8000 億円市場になると見込み
- ・健康食品産業と同市場
- ・アダルトビデオ市場は 5000 億円
- ・スタッフは全員女性
- ・クロネコヤマト、au、リクルートも参入
- ・仙台で 7 社しかない
- ・つくる仙台で 6 コマ講師やったり
- ・フランスは国をあげて家事代行サービス浸透する取り組み
- ・税制優遇もしている

- ・出生率 2.0 まで戻した
- ・サービススタッフ年齢は 30~60 くらい。年齢制限なし。
- ・家事のプロとして 10 時間以上研修、2 か月に 1 回研修
- ・シルバー人材センターの女性版できないか
- ・はじめたのが福島の郡山市。内向的性格
- ・家を持って人多い。
- ・家事代行文化ない
- ・最初は苦勞
- ・ポスティング等でかなりの出費
- ・来てくれたお客さん、私を訪ねてきている
- ・仙台は関東圏から来ているので、少しはまし
- ・1 万新聞広告で 3 件のレスポンスということも
- ・リピート率 90%
- ・マーケティングミックス
- ・家事代行で独居老人の緊急通報システムの対応している会社も
- ・デイサービスが広がったものと似ている
- ・地域との連携できれば面白いビジネスになる
- ・現在スタッフ 20 名 内、正社員 5 名
- ・イニシャルコスト低く、主婦が開業できる
- ・自宅を研修拠点にもできるから

○嶋田瑞生 有限責任事業組合 [baselabo.com](http://baselabo.com)

- ・木のボード版ビジネスゲームで学生向けイベント、起業家支援教育、社員研修等
- ・東北大学経済学部 2 年の 2 人でやっている
- ・存在意義
- ・ビジネスに対する興味関心、アントレプレナーシップ、社会人基礎力育成、MOT 教育
- ・活気ある社会づくりを目指す
- ・東北大学浜田よしき教授 文系理系の両方のエッセンス取り入れている
- ・もう一人のパートナー 池田氏
- ・ゲーム事例 BASE 製造業ゲーム
- ・財務諸表、貸借対照表、損益計算書もできるように
- ・BASE ソフトウェア開発ゲーム
- ・東北大学大学院の学生がつくった
- ・その学生は現在バンダイに就職
- ・タイの大学の授業で運用
- ・東京都内の会社での夏季インターンで使用

- ・これは他にはない独自の商品
  - ・創業スクールで製造業ゲーム活用
  - ・高卒や理系性（経済学学んでない学生）に対して非常に効果的
  - ・取り組みを国際学会においても発表
  - ・タイの学生にとって日本は羨望のまなざし
  - ・つくる仙台でインターンをした
- 
- ・はじめたきっかけは東北大学の浜田良樹教授
  - ・頭かたい大学
  - ・渡辺さんの指導もあり、先生がやっていた時よりも広がっている
  - ・将来の夢は保育園
  - ・スキー部
  - ・小中学校にお金の教育も実施したい
  - ・来年度の中小企業施策にも同じテーマある
  - ・